

日勝峠通行止め解除感謝状授与式

【帯広発】帯広開建は二月受賞者は二十五日付一面十九日、本部会で国道二七四号日勝峠通行止め解除にかかる感謝状授与式を執り行つた。日勝峠復旧工事連絡協議会の十四者に対し、河畠俊明部長が感謝状を授与。被災から約一年二カ月での復旧という北海道土木史に残る偉業を成し遂げた受賞者の功績をたたえるとともに、今後のさらなる活躍に期待を寄せた。

この日は、河畠部長が十
四者代表者一人ひとりに

感謝状を贈呈。あいさつに

示した。

立った河畠部長は、休日・昼夜を問わず施工に当たつた各社の功績を振り返った。一昨年夏の記録的大雨で甚大な被害を受けた二七四号日勝峠は、昨年十月末に通行止め解除となつた。開建では、災害復旧工事の推進に尽力した施工業者の功績をたたえるため、感謝状を贈呈することとした。

河畠部長は、「皆さま方の災害復旧工事に対する迅速かつ積極的な対応は、一日も早い通行止め解除願う地域の期待、道央と道東を結ぶ大動脈の早期機能回復に大きく貢献した」と感謝の意を述べた。

河坂寿文社長は「歴史的な復旧事業に携われたことを誇りに思う。厳しい施工条件に加え、時間的制約もあ

る中、ICT技術を駆使して、無事故・無災害で竣工を迎えることができて安心している」と話した。

14者の功績高く評価 北海道士木史に残る偉業



河畠部長（前列中央）とともに記念撮影を行った

帯広開建

14社に感謝状を贈呈

日勝峠災復で団結し業務



記念撮影し復旧の貢献をたたえた

【帯広】帯広開建は29日、帯広開建庁舎で27号日勝峠の災害復旧に貢献した建設業者に対する感謝状授与式を開いた。同開建発注工事の受注業者で構成する日勝峠復旧工事連絡協議会に所属していた14社に対し、早期復旧という目標の

下、一致団結し業務に当たった功績をたたえた。連絡協議会は各社が協議し、峠での重機や大型機械の輸送（ふそう）を防ぐなど業者間のスムーズな連携に努め、昨年10月28日の通行止め解除に貢献した。

河畠俊明部長は各社の

代表者に賞状を手渡して「一日も早い解除を目指して休日や昼夜を問わず工事の施工に取り組んでいた」と話し、迅速かつ積極的な対応が道央と道東を結ぶ大動脈の機能回復に大きく寄与したことには敬意を表した。道路が大規模崩壊した清水側7、8合目の復旧に当たった宮坂建設工業の宮坂寿文社長は、「厳しい気候の中で24時間体制で事故がなく職務を全うした担当職員や作業員と共に」「(早期復旧は)電気や機械関係などの業者といい形で異業種連携ができた結果だ」と、協議会の会員会社の協力にも感謝していた。

2018.02.06 十勝毎日新聞

日勝峠工事14社に感謝状



感謝状を受け取った被表彰者ら

27号日勝峠の復旧工事連絡協議会」の14社に感謝状を贈呈した。日勝峠はおとど夏の台風災害で道路欠損など甚大な被害を受けたが、復旧工事を急ピッチで進めたことから、昨年10月に上下線とも全線で通行を再開した。

河畠俊明部長から感謝状を受け取った河畠部長は「皆さまの尽力のおかげで通行止めを解除できた。昼夜を問わず施工に取り組んでいたとき、深く感謝したい」と述べた。

(中島佑斗)

被表彰者は次の通り。
▽振興電気・大昭電気工業、東光舗道・道路工業・東日本経常建設共同企業体東日本道路、富士新舗道・宮坂建設工業（以上帯広）、北電力設備工業・道路工業・東日本経常建設共同企業体道路工業、北央道路工業（以上札幌）、クリアロード（清水）、清水開発工業（同）、丹野建設（芽室）、煙下組（広尾）、平田建設（十穀）